

丸太橋架け替え

棚田の中で一番高い箇所は山裾で6枚の田んぼがあり、棚田への通り路は急斜面や小さな谷が流れ、農作業の登り下りも足腰にきます。その通り路に丸太を使った橋が架かっていますが老朽化して渡る度に窪んだり揺れたり危険な状態になってきました。この丸太橋は、親父が架けてもう30年以上になります。もう架け替え時かなと感じ2年前ぐらいから間伐材等、架け替え材料を集めてきました。今回は、その丸太橋架け替え土木工事の作業状況を報告します。



30年以上架かっていた腐食して危険な状態な丸太です。

山裾沿いを棚田へ土管を跨ぎ丸太橋が架かっていました。



全ての材料。直径20cm長さ2.5mの丸太等木材は防腐剤を塗布。

第1の橋脚作り。敷石と木材で高さや水平を確保、天板組み付け。



跨いだ後、第2の橋脚作り。水平度を保ち高さを敷石を調整、天板組み付け。

土管を跨ぐ渡し天板を組み付け。



棚田側の第3の橋脚作り。敷石、U字構、天板で水平・高さを決めます。

約30kg程の丸太を第2と第3の橋脚に設置。L字金具と鋸で固定します。



丸太の上に防腐シートを木材で留め丸太の設置終了。

左からU字構で上がり土管を跨ぎ丸太橋を通り棚田へ行くことができます。



材料の丸太は間伐材を利用しましたが同じ太さ長さを揃え、乾燥・防腐剤塗布などで2年ぐらいかかっています。橋脚で使用する敷石を集めて設置する作業は人海戦術ですので一日あたりの作業は中々進みませんでしたが工期として1週間かかりました。出費した費用は、「防腐剤」「ステンス木ねじ」のみで後は廃材などを利用しました。今後30年以上の耐久がある事を祈っています。